

## 実施概要

### 1. 日時・会場

平成 26 年 6 月 6 日 (金) 13:00~16:30

神戸大学 六甲台キャンパス 百年記念館 講義室 A・会議室 B

(神戸市灘区六甲台 1-1)

<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokk/rokkodai-dai2.html> の 57

### 2. 想定した対象者

・事務系職員の方で数量データを集計、分析し大学の意思決定を支援するような業務に就かれていたり、今後、それを行う予定の方。もちろん、ご所属が評価部署や IR 部署でなくともかまいません。

・単に手法を知りたい、という方ではなく(手法と必要なデータは後日公開します)、研究力の把握を通していろいろと考えてみたい方。

・特に今回は、科研費について一般的な知識があることを条件としますが、研究支援事務の担当経験の有無は問いません。(科研費の募集要項の内容はなんとなく把握しているレベルで十分です。勉強会中、科研費に関する一般的な説明はあまりしません。知識について不安な場合、科学研究費補助金の公募要領等をご一読の上、ご参加ください。)

・MS-Excel2007 以上 が扱えるパソコンを持参いただける方で、かつ、MS-Excel について、一般的な関数やグラフ作成が行えることが望ましい(ある程度はスタッフが支援します)。

### 3. 参加費

徴収しませんでした。

### 4. 参加人員

29 名 (スタッフ 8 名を含む)

### 5. 勉強会の内容とタイムテーブル

12:30 受付開始

13:00-13:05 趣旨説明

13:05-13:30 講義「IR 業務を意識した研究情報の取扱いについて」

名古屋大学 評価企画室 講師 藤井都百

—中井・鳥居・藤井編著「IR の Q&A」の内容を中心に、IR 業務を意識した研究情報の取扱いについて基本的な部分について概説しました。

13:30-13:50 説明「科研費データの特性と活用可能性」

茨城大学 評価室 助教 畠田 敏行

—今回用いる科研費データの作成方法と特性や分析事例について説明を行いました。

14:00－15:20 実習「科研費データを用いた研究力把握」

鳥取大学 大学評価室 准教授 大野 賢一

－2006年度から2013年度の全国の国公立大学の実際の科研費データを用いて自身の大学の研究力把握の作業をいくつかのステップに分けて行いました。

作成していただいたグラフ等

- ・基盤研究や若手研究など種目別や金額別の科研費配分額の経年変化
- ・特色ある分野（グラフ）、分科（表）[総量、順位、シェア等]

15:30－16:15 演習「他大学との比較による研究力把握」

- ・研究の規模別にグループを組んでもらいます。各班にはスタッフが1名、ファシリテータとして入ります。そこでは、同じグループの大学の方と実際にデータの比較をしていただき、自大学の研究力をより深く把握してもらいました。
- ・その後、グループごとに何を議論したのか、何が分かったのか、今後の課題等について簡単に報告していただく予定でしたが、そのまま演習時間としました。

16:15－16:20 まとめ

16:20－16:30 アンケート記入

6. 持参いただいたもの

- ・ノートパソコン（MS-Excel2007以上が扱えるもの）[インターネットへのアクセス（無線LAN）は神戸大学さんにご準備いただきました。電源についても人数分は確保いただきました。]

（畠田 [茨城大]）